

報告ダイジェスト

- ・第17回認定NPO法人ぱれっと 社員総会開催報告 （報告1）
- ・35周年記念シンポジウム報告 （報告2）
- ・ぱれっと親の会主催「ぱれっと福祉バザー」について重要なお知らせ （報告3）

報告1 第17回認定NPO法人ぱれっと社員総会開催報告

5月26日（土）、地域交流センター恵比寿にて第17回社員総会が開催されました。当日の出席者60名、委任状提出者197名で、議決権のある会員数388名（5月26日現在）の過半数となり、総会が成立、議長に理事の米岡文土さんが選出され議事が進行しました。

- 【議案】第1号議案：2017年度事業報告 第4号議案：2018年度事業予算
 第2号議案：2017年度会計報告 第5号議案：役員改選の件
 第3号議案：2018年度事業目標

●当日の様子

冒頭、35周年を迎えるにあたり、相馬理事長より皆様に、長年のご支援についてお礼の言葉をお伝えしました。議事の中では、第4号議案、2018年度事業予算のところで、会場から「現状維持に留まらず、ぱれっとらしさを今後どう打ち出すのか、予算に反映させてほしい」という厳しいご意見も頂戴しました。理事長からは、現場の若手・中堅職員から「自分たち主導の勉強会を開催したい」という声があがっていることなど、人材不足という大きな課題はあれど、組織内部にも少しずつ変革が起きていることを報告させていただきました。議案については、皆様から承認をいただき、議案書通りに可決されたことをご報告申し上げます。なお、第5号議案で役員改選が行なわれ、新しい方々を含めて16名の役員が決定いたしました。 （事務局長 南山達郎）

各事業の2018年度事業目標

～議案書より抜粋～

■事務局

【地域社会及びステークホルダーとのネットワークを強化する】

【人材確保に向けた動きを強化する】

障がいのある人たちの安心・安全で豊かな暮らしの実現に向けて、他事業所や町会などを始めとした地域社会とのつながりを強化します。また、ここ数年の課題である「人材確保」についても、行政や区内の事業者とも手を結び、渋谷全体の課題として取り組んでいきます。

■たまり場ぱれっと（余暇活動支援事業）

【外部への魅力ある発信】

【ボランティアの確保】

たまり場ぱれっとは、多くの方々の関りを生み出す事業を行なっています。その自覚を持って、社会変革を目指す上での重要なセクションとしてより一層魅力ある発信を行なっていきます。また障がいのある人たちだけではなく、ボランティアも楽しいと実感できる活動を目指し、運営の中核に継続的に関わってくださる人材の確保を考えます。同時に、運営体制の効率化とボランティアの負荷軽減も図ります。

■おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと（障がいのある人を対象とした就労支援事業）

おかし屋ぱれっと【新商品開発並びに通所員の可能性を支援】

工房ぱれっと【その人に合わせた作業の多様化】

おかし屋ぱれっとでは新商品の開発に取り組み、将来的な定番アイテムへの浸透を目指します。また、活気のある職場を目指し、苦手なことにも進んで挑戦できるよう支援していきます。工房ぱれっとでは開所から5年が経ち、通所員の作風が確立してきたと同時に、各自の可能性の幅を広げる必要を感じています。新商品開発やシブヤフォントプロジェクトへの参画を通してその人に合わせた多様なステップアップを目指していきます。

■えびす・ぱれっとホーム/しぶや・ぱれっとホーム

（障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス運営事業及び緊急一時保護委託事業）

【福祉現場の人材獲得を模索する】

【ぱれっとホームの強みと弱みを再確認する】

介護や福祉の現場では、2025年には37.7万人の人材が不足するという統計も出るほど、深刻な人手不足となっています。制度の充実や施設の整備だけではなく、それを支える人材がいなければ成り立たない現状を踏まえ、渋谷区全体で解決に向け議論する必要があります。また、現場では、障がいのある方の自立や成長を見守りながら、本人の力を信じて寄り添う姿勢をはじめ、ぱれっとホームが培ってきたサービスの質を落とすことなく、運営をどのように維持継続していくかを大きなテーマと捉え、特徴や強みをより明確に改善点を探っていきます。

■ぱれっとインターナショナル・ジャパン（PIJ）（知的障害者を対象とした国際協力事業）

【海外の活動団体とのつながりを深める】

今月号の特集にあるとおり、4月と5月にモンゴルとのつながりで研修事業を行ないました。現地での障害者団体の視察や、スタッフとの意見交換を通して、障害児・者とその親たちが抱え

る課題について相互に学べる大変良い機会となりました。PIJとして出来る協力は何かを見極めながらつながりを深めていきます。また、隔年開催の「アジア知的障害会議」は来年のネパールでの開催への参加を予定しており、その準備を進めていくことを考えています。

■ 広報・啓発事業

【既存の広報手段の見直しと、新たな方法の模索】

ぱれっとつうしんでは、特集「渋谷の福祉を考える」の掲載を続けます。外部への発信はもとより、取材にあたる職員の学びとなるよう企画しています。ホームページによる広報では、昨年度からスタートしたりリニューアルを完成させ、多岐にわたる事業をわかりやすく、リアルタイムにお伝えできるよう進めていきます。また、重要な情報ツールであるパンフレットは移転後の新しい情報や写真を盛り込んで、今年度新しいものを作成する予定です。

■ ぱれっとの家 いこっと (障がいのある人とない人が共同生活をするための事業)

【いこっとの広報啓発並びに入居者同士の関係づくりを側面的にサポート】

35周年記念シンポジウムへの企画協力を始め、いこっとに関する社会的認知度を高めるための広報活動は引き続き重点課題として取り組んでいきます。入居者のサポートに関しては、昨年度に引き続き、いこっとサポートの会主導による定期面談や、ミーティングへの参加、交流会実施などを実施していきます。また、サポートの会の運営体制改革として、新しいメンバーを募集し、今までにない発想や意見を柔軟に取り入れながら事業を展開していきます。

【2018-2019 年度役員】(順不同・敬称略)

- ▶ 理事長 **相馬宏昭**(おかし屋ぱれっと所長) ▶ 副理事長 **菅原睦子**(えびす・ぱれっとホーム施設長)
【新任】
- ▶ **藤井志保**(株式会社デンソーセールス) ▶ **黒澤友貴**(会社員 ぱれっとの家 いこっと運営委員)
- ▶ **前田大地**(キャスレーコンサルティング株式会社) ▶ **金子正和**(会社員 たまり場ぱれっと運営ボランティア)
【重任】
- ▶ **高橋知子**(NPO 法人在宅福祉サービスウイズ理事長) ▶ **南山達郎**(ぱれっと事務局長)
- ▶ **西嶋美那子**(元経団連障害者雇用アドバイザー) ▶ **田口雄一**(会社員・ぱれっとの家いこっと運営委員)
- ▶ **今井啓二**(NPO 法人 ICT 救助隊理事長) ▶ **宮代幸枝**(渋谷区立長谷戸小学校施設開放委員長)
- ▶ **辻正雄**(株式会社アーティストユニオン) ▶ **田代真紀子**(ぱれっと親の会)
- ▶ **米岡文土**(株式会社ニッコー)
【監事・重任】
- ▶ **矢崎芽生**(矢崎公認会計士事務所 公認会計士 税理士)

※今回の役員改選で、新たに4名の理事の方々が加わりました。次号以降、ぱれっとつうしん誌上で改めてご紹介させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。また、長年理事として事業を支えていただきました、前田薫さん、谷口奈保子さんが今回をもって退任されました。長年のご尽力誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。